

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.27 2017年8月27日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

残暑
御見舞い
申し上げます

山本陽子
山本陽子
山本陽子



使い続けられる敬老乗車証制度の存続を！



8月15付の山科区民新聞の折り込みで「敬老乗車証制度の現状や課題について」というチラシが配布されました。

人口減少が加速するなか、財源負担が重いことだけが示されています。そして、8月末にはこの課題に対して無作為抽出でアンケート調査が発送されます。「財源の負担をどうしていくべきですか？」というのがアンケートの質問です。負担が重いと言われたら「下げるべき」と言わざるをえない。一方的な結論ありきの誘導アンケートです。委員会でも指摘しましたが、改善されませんでした。

敬老乗車証はコストの面だけでとらえることはできません。高齢者の社会参加効果、健康増進効果、経済波及効果、環境負荷低減効果など、積極的な効果があります。

先日、鏡山循環バスの増便運動をしている鏡山学区自治連と山科区役所が、国土交通省近畿運輸局から環境保全優良事業として表彰されています。所得に応じた応能負担の費用だからこそ、高齢の方が利用することができるのです。アンケートが届いた人も、届かなかった人も、乗り続けられる制度の存続を求めて、声を上げていきましょう！

京都いつでもコール

tel 0756613755

fax 0756615855



↑8/17 敬老乗車証守ろう連絡会第10回署名提出 33257筆に(今回3528筆提出)

夏は出張シーズン

夏の間、共産党議員団の視察、委員会視察が続きました。北は岩手へ。映画『いのちの山河』のモデルにもなった日本初・医療費負担ゼロのまち沢内村に。合併できびしい財政、後退もありますが、町立病院を維持されていました。仙台市では障がい者総合支援センターを視察。

行政視察では南は熊本へ、吸音版を導入した保育園へ行きました。

↓深澤まさ雄銅像前で



〈8/16 子育てシンポ〉

子どもの「心」を育てる保育・子育て」と題して、子育て世代企画をおこないました。きたるべき総選挙に向けて、ちさか拓晃予定候補に子育て世代の願いを託す集いです。

発達心理学がご専門の大倉得史准教授がゲスト講師。保育が子どもの長期的発達に及ぼす良い効果が統計的にも示されていること。子どもの心を育む保育を実践するためには、保育士の配置が厚いことが必要。今、待機児対策の保育所整備は、安価なコストの保育サービスを拡大させており、保育の質が下げられようとしていることを述べられました。

会場からは、行政の保育責任を後退させる市営保育所の民営化に反対の声を上げ

る保護者が、「市営保育所は贅沢だというマインドコントロールがされてきた。はじめは何も知らず民営化を承諾したことに後悔している」など率直な意見が述べられました。

ちさか拓晃京都二区予定候補は〈ちさか拓晃子育て・保育提言(案)〉を示し、皆さんと力を合わせ「どの子の未来も希望」といえる日本にしていきたいと決意を述べました。



ヨロコの ママチャリ 子育て日記

家族の夏休み



日頃は、親の仕事の都合でなかなか遊びに連れて行ってやれないので、盆休みくらいは泊りがけで遊びに行こう！と、日本海への海水浴、祖父母との長野旅行を計画した。

雨降りが続いたせい、海水浴場の波は強く、本当は澄んだ透明度の高い海なのに、ザッパーンと波しぶきが上がっている。……思い起こせば、子どもが一歳と三歳のときにも海水浴に来たが、そのときは同じような波の高さに「とが死ぬ、かが死ぬ」と波をこわがって結局遊ばずに帰ってきた。今回も遊べるだろうか？ と思いきや、「波がきつい方がおもしろい」と、浮き輪に入って波乗りを楽しんでいる。弟君は波にのまれて一回転したけれど、その後も波と戯れている。泊二日で思う存分楽しめた。

長野旅行へは、自動車で行ったので、退屈な時間も多く、雨も降っていてあまり遊べず。子どもらが最後に言ったのは、

「早く、学童に行きたいよー！」

……結局、それがいい

のかーい！

と突っ込みを入れた。

